

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

平成 28 年 10 月 28 日(雨天)

西山保育園 年長組 禅

あいさつは自分から大きな

あいさつは自分から大きな

声です。

あいさつは漢字で「挨拶」と書い

すが、これはもともと「禪語」です。

漢字の「挨」も「拶」も「押し合う」という

こと。禪僧がおたがいに押し問答を

するなかで心のなかを推しはかり、相子

の悟りの程度を知ろうとするというのが

その本来の意味なのです。

気持ちのいいあいさつの言葉は、形が整

うことで所作として完成されるのです。



携帯電話

に頼りすぎ

ないで。

人と人とのつなが

りを見誤らな

いことも、

携帯電話の落

とし穴だらけ

気がします。

利便性という功

を否定するつも

りはありませんが、

人間関係を希

薄にする「弊

害」があります。

「一握の手紙には、

十本の電話に勝る優しさがある。」



当日は朝から小雨が降っており、坐禅がはじまる時には大雨に降り止んだ。子供達も静かな時を過ごしたよ、日だと思えます。雨と禅は心も休めるには最高のコンディションです。外の運動では噴れることも期待したし、すが、禅とは心が落ち着き、外の音も静で本音に子供達にはよかったと思えます。皆さんしつかり学習しました。第2回にはもも姿の美しい所作が観ることが出来ると思えます。

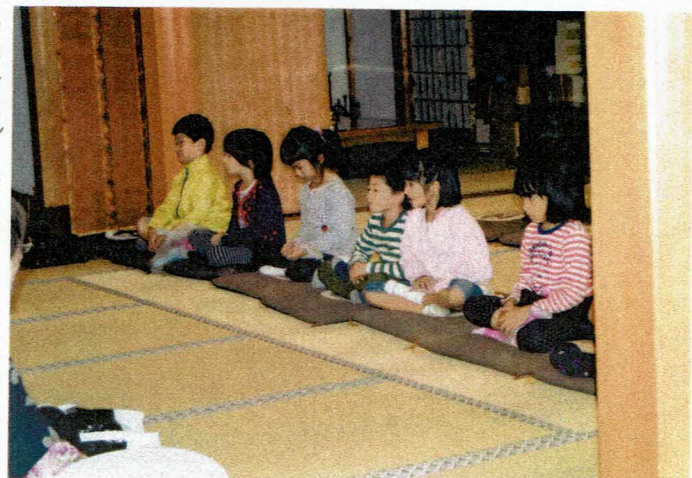


2016/10/28

▲先生も子供達と一緒に「禅」の厳しさを知る。



▲サマー真剣な姿で坐禅しています。



▲少レリマクスして休み時間でした。